

## 第5回 鴨川市前原横渚海岸周辺の魅力づくり推進委員会 会議録

### ■開催日時・場所・出席者

日時 : 令和元年9月30日(月) 午後2時00分から午後4時00分まで

場所 : 鴨川市役所4F大会議室

出席者 : 以下のとおり

### 【出席委員】

No.	氏名	備考
1	鈴木 健史	(一社) 鴨川市観光協会 会長
2	水谷 好伸	鴨川ライフセービングクラブ 会長
3	中橋 健二	鴨川シーワールド 営業推進支配人
4	川井 幹雄	鴨川サーフィンクラブ 会長
5	村永 信吾	鴨川市健康づくり推進協議会 会長
6	渡辺 淳一	城西国際大学観光学部 教授
7	川上 周一	公募による市民

### 【欠席委員】

No.	氏名	備考
1	徳山 英樹	鴨川市漁業協同組合 総務部長
2	大内 洋	公募による市民
3	立野 健児	鴨川ライオンズクラブ若獅子支部
4	久根崎 達郎	鴨川温泉旅館業協同組合 専務理事
5	原田 洋美	NPO 法人鴨川ガイド協会 理事
6	藤巻 武仁	(一社) 鴨川市観光協会 副会長

7	菅原 明善	(一社) 鴨川市青年会議所 副理事長
8	内山 達也	城西国際大学観光学部 准教授
9	岡野 大和	公募による市民
10	庄司 修	公募による市民
11	林 良樹	公募による市民
12	福田 雄一郎	鴨川市商工会 前青年部長
13	浅田 朋靖	鴨川市商工会 商工会青年部長
14	橋詰 良子	地域おこし協力隊
15	鈴木 淳	学校法人文理開成学園文理開成高等学校 理事長・校長

【業務委託請負業者】

No.	氏名	備考
1	刈込 信道	鴨川観光プラットフォーム株式会社 事業推進統括
2	豊島 まゆみ	豊島まゆみ事務所 代表 鴨川市プロジェクトマネージャー
3	井上 裕史	株式会社 乃村工藝社 クリエイティブ本部 第三統括部 デザイン7部 R &D グループデザイナー
4	牧本 達郎	パースペクティブ合同会社 代表

【市行政関係者】

所属・職	氏名	備考
鴨川市建設経済部長 兼商工観光課長	佐久間 達也	事務局
鴨川市建設経済部 商工観光課長補佐	小柴 則明	事務局

鴨川市建設経済部 商工観光課長補佐	矢代 忠恭	事務局
鴨川市建設経済部 商工観光課 観光振興係長	影山 光一	事務局
鴨川市建設経済部 商工観光課 新たな観光づくり係 係長	濱野 和明	事務局

## ■配布資料

- ①次第
- ②席次表
- ③プロジェクト概要書 ※豊島まゆみ事務所×乃村工藝社提供資料

## ■会議要旨

### 1 開会（午後2時00分）

### 2 委員長あいさつ

台風被害の残る大変なご参加いただきありがとうございます。

今回の検討を受けて入札等の具体的な運びになる。現状と実施される整備に基づいて、次回以降ブランドデザインとしていくことになるので、検討をお願いしたい。

※議事録署名委員に中橋委員と村永委員を指名。

### 3 議事 ※進行：渡辺委員長。

○前回の振り返り、進捗状況報告（豊島まゆみ事務所）

・ソフトのところ、ステージに関し、近隣にうるさくないようにとの意見あり。入札のスケジュールは市で管理している。

・9月12日、下田なんじゃビレッジスターシェイド、東伊豆町ツリーハウス、宇佐美アンカーテラスとビーチパーク、熱海のゲストハウスや商店街、茅ヶ崎湘南夢わくわく公園など、情報を収集してきた。災害後に観光振興の切り替えをどう行ったか、熱海市や熊本市に聞いたところ、とにかく多くの方に来ていただくことが何より、関係者一同、市に協力し復興へ向けたとのこと。

民間事業者の支援もたくさんあり良い機会と捉えて、民間事業者の参入支援に加わるよう促していきたい。（モンベル、トヨタ、アフタヌーンティーなど）

・11月9日10日あたりで、アートフェスがあり、この催しを単発で終わるのでなく、海辺の関係で後援できないかと思い、文化の日や棚田のあかりといった催しと海辺をつなぐといったながれで飯田ベンジャミン氏にアドバイスをもらった。

・9月11日に実施ができなかったが、フィッシャーナから商店街へマルキ本館をゴールとし、まずはこのエリアから動線の仕掛けを行っていくことを考えている。

・イベント、アート系のコンテンツ、鴨川由来の音楽、芸術を知る機会としても、商店街の空き店舗を

活用していきたいと思っている。ターゲットは地元の女性の方としたい。プロモーションは地元の方の力を借りて行ってきたい。

・フィッシャリーナ周辺からプラットが管理するスターシェイドを日よけとして置いて、20人位の規模でのミニライブなど。(音響、PAは近隣にの方を起用。)

・ワークショップとしてベンジャミン氏による流木のアートも可。また、ベンジャミン氏の牛のたい肥小屋、ドーム型のアートなどエントランスでインスタ映えする道具を借りることができそう。

・フィッシャリーナから商店街への賑わい創出、地元のアーティストの力を借りるということを準備している。商店街のルートについて、デコレーションは、既存のイベントで使用しているソーラーLEDを装飾し景観づくりを行う。また、マルキ別館のところをリノベーションし、入口とジュリの間の空間でワークショップを予定。アーティストは5~6名、宿もマルキ別館の2階を使用させてもらうなど、コミュニティが出てくるのも良いことだと思っている。

今日は、詳細が報告できなくて申し訳ないが、調整でき次第報告させていただく。地元の方が海を楽しむといったきっかけとしたいと考えている。

#### ▼鈴木副委員長

アートフェスへの出店者は、どういった方が出るのか

#### ▼豊島

ベンジャミン氏の知り合いを通じて、山と海の関係の方となっているが、是非紹介してもらえれば出店可能である。

#### ▼鈴木副委員長

シーグラスを積極的に取り組んでいる方がいるので紹介しておく。

#### ▼渡辺会長

デザインがいろいろあるが、ハードとの絡みはできないか。

#### ▼矢代

ハード等の整備は、アートフェス後となるので、ハードの活用はできない。

#### ○ハード面での報告 乃村工藝社 ※イメージパースの説明

・イベントパースは、今回の整備というより、将来ビジョンにおけるイメージパース。

・大きな構成は変更ない。

・施設のロゴ、こどもの遊び場、移動式のタイニーハウス(遊び場を動かすというテーマ)、キッチンカー、こどものにぎわいの場、ホワイトビーチ(ヨガ、ウェルネス系のアクティビティ用)、海太郎側にデッキを作り海が見えるステージ、建物(2期工事、受付、カフェ、マリンスポーツレンタル事務所)敷地真ん中、キャンプスペース、中規模ステージ等を設置するといった内容。※平面図で確認

・ネクストエリア(漁協所有地)は市が購入する可能性があるとのことで、夏場は駐車場として使用し、網を干す場合は、使用状況に応じて、全体の駐車場を使用するなど臨機応変に貸し借りができるように有効に使っていく。

・ステージは海をバックにした小規模ステージと、山をバックにしたコアエリアの中規模ステージの設置を可能とした。

・前回、鈴木副委員長から、コアエリアとデッキを兼ねた方が良いとの意見があったため、デッキのスペースを伸ばし、客席スペースを確保した。カフェの屋外スペースとしても使用可能。

- ・建物を敷地の周辺にしている理由は、水道等の引き込み距離を少なくするほうが、設備的にもメンテナンスがしやすく工事費も抑えられることと、建物の増築も視野に入れ、増築しやすくするため。
- ・フロントエリアには、鴨川らしい入口をつくりたい。
- ・タイニーハウス、遊具1台のキッチンカーを想定している。災害時も移動式の販売者は有効。もう一つは、移動式のタイニーハウス。
- ・アクティビティエリア、ステージ、キャンプ場等多様な用途に使用できる。定置網、漁師の大漁旗などイメージづくりに活用できる。
- ・ビーチエリアの白い砂浜をはだして親しむことは、非日常感を感じる鴨川の魅力である。
- ・コアハウスには海の見えるカフェやビーチマリンアクティビティ。浄化槽の整備も視野に入れている。
- ・規模に合わせて選べる、大（数千人規模）、中（数百人規模）、小（数十人規模）の3つのステージ。
- ・今回は、入口付近から砂浜エリア、ガーデンや前原海岸側の斜面の工事を行い、備品については、タイニーハウスの機材等を想定している。
- ・中長期ビジョンとして、デッキの部分は次年度以降となる。

#### ▼豊島

- ベビーカー、車いす、神輿の出入りを可能とする。
- ライフセービングについて、倉庫が必要では。
- レンタサイクルの倉庫など検討中。
- 前原海岸寄りの電柱を撤去予定。

#### ▼川上

- ・柔軟に対応できるようになっており良くできている。潤沢な予算があるならともかく、少ない予算の中で作成いただいた。

#### ▼松永

- ・イベント会場としてはイメージがわからないが、公園としては良い。イベントの際の音による苦情の虞がある。

#### ▼井上

- ・前回の会議でも、鴨川の海を背景にすることが大きな魅力であるとの意見あり。音量でステージを選べるようになっている。

#### ▼松岡

- ・10月9日のアートフェス会場で音の影響を図ってみてはどうか。

#### ▼鈴木副委員長

- ・1期はこの工事は雰囲気が出ないのか。

#### ▼豊島

- ・まるで雰囲気がでないのもいけないので、タイニーエリアの遊具やキッチンカーなど雰囲気が出せることはするつもり。

#### ▼矢代

- ・海辺についての予算は備品合わせて30,000,000万となっている。
- ・トイレについては、県の補助金を別に申請してる。

#### ▼渡辺委員長

・建物等の整備は市、運営（増築）は完全に民間が理想だと考えている。その方向で検討してもらいたい。

▼鈴木副委員長

・民間につくらせると借地借家法上、縛りが出る。

▼佐久間

・しおさい公園の拡張として、設置管理条例の面積を増やして、これに該当させ、指定管理制度により管理を委託することを想定している。

▼鈴木副委員長

・キッチンカーについては、最初に出してしまうのはどうかと思う。サインがあるゲートを優先すべきでは。

▼川井

・ゲートだけでもわくわくするような仕掛けがほしい。

▼鈴木副委員長

・グランピングのテントがあれば、とりあえず既存のものを使うという考えでどうか。

▼渡辺委員長

・わくわくするような、可能性と広がりを感じさせるようなものを検討してもらいたい。

▼水谷

・身体障害者用のトイレの整備にも十分な配慮が必要と感じている。予算がないのは分かっているがバリアフリー、機能性、デザイン等、さすがと思わるユニバーサルトイレを考えてもらいたい。

▼中橋

・閑散期の集客に可能性を感じる。

▼渡辺委員長

・女性、子供、家族連れなどは、鴨川シーワールド以外、行き場がないといったことが目的の一つとなっている。亀田の子供連れも同様であり、これを解消することが、結果的に家族連れのニーズを満たすのではないかという考えがある。

▼鈴木副委員長

・実際 2 期工事費はどのくらいかかるものか。

▼井上

・建物だけでも、30,000,000 円で足りない。コストを抑える必要があり、コンテナ造りの 2 階建から平屋の木造に変更した。結果、ぬくもり感も出る。

▼川上

予算を増やせるなら増やしたい。

▼鈴木

まずは、デッキ部分が完成しないと話にならない。

▼川上

あまり予算がなくて、ハコだけできただけでは、魅力がない。市民会館とプロムナードをつなぐ動機付けとなるもので、つなげなくなってしまう。

▼豊島

・予算に関しては、地方創生交付金事業としては、30,000,000 円であるということで、市の持ち出しと

なるとこの限りではない。

▼鈴木副委員長

- ・予算を持ちこせないのであれば、デッキを優先させて整備できないか。

▼豊島

・ステージまわりではなんとかかなと思うが、タイニーエリア、あとで不足が生じないように、予算を見ながら慎重に調整してみる。

▼渡辺委員長

・海太郎との関連性も出てくると思う。管理外だが、将来的には設備がらみの点で繋がっていると思うので検討すべきと考えている。

- ・漁業組合で所有する土地は、借りるような形で進んでいるか。

▼佐久間

・市は漁協に対し購入したいと伝えてある。その手法等について財政当局と検討している。当面課題となっているのが、定置網の干場となっており、共存の在り方について話し合っているところ。

○その他

▼松永

前原海岸の砂浜とどのような関係性をもたせるのか。一体感があれば良いと思う。

▼佐久間

通年型であればアクセスしやすい距離感である。7月8月を除いた時期で、ビーチスポーツ等を企画してもらえれば、そこが人が集まるスペースになると考えている。岡野委員が事務局長を務めるスポーツコミッションと年間楽しめる企画を議論していきたい。そして、海水浴場についても、海の家を一部、フィッシャリーな側に移動したいとの話もあるので、その辺を含めて人の流れをどのように持ってくるか、来年の夏に向けて議論していきたい。

▼豊島

催し等はどんどん実施してほしい。鴨川の海に関わるようなテーマパークになれば良い。商店街との取り組みも海をPRするエリアとしていきたい。

▼川上

・今すぐというわけではないが、砂浜とエリアの間の無法状態による迷惑駐車について、せめてイベントの際など、時期的でもかまわないが、駐車場の利用を促したい。車による分断感ができてしまう。

・海は魅力があり、景観的に砂浜にヤシが直接生えていたら映える。法的には問題があるかもしれないが、汚くなるから整備したという考え方でなんとならいかと考えている。

・ビーチボックスについては、前原にはヤシも置いたが、海水浴場との距離があったせいか利用は少なかった。花火大会時は人気だった。太海は非常に賑わっていた。

▼渡辺委員長

・プラットフォームの取り組みとなっていた、海辺クラブの50万円の補助事業について進捗状況を次回報告願いたい。

- ・サーフィンについて、その後活動があれば報告してほしい。

▼川井

青年の家とコラボして、サーフィン教室を実施し備品を使用した。青年の家はシャワーがあって良かった。こどもを対象として好評だった。

▼渡辺委員長

サーフィンは賑わうと思うので、是非続けてもらいたい。その中で広がっていくものができるはず。備品も使ってもらいたい。

▼佐久間

- ・次回あたりから、市民会館の跡地利用を踏まえた検討をお願いしたい。
- ・台風の被災に対し、ふるさとチョイスを通じて 1,365 件 18,000,000 円以上の寄付をいただいた。このうち三分の一程度の方から応援メッセージをいただいた。今後の鴨川の観光に求められる交流人口を増やすヒントになると思い整理させてもらった。鴨川に思い入れのある方々からのメッセージあるとおり、鴨川の観光は、一人一人の良い思い出づくりになればと考えている。委員のみなさんにメールで送る。

今回は、11月8日(金) 14:00 から開催予定。

4 閉会 (午後4時00分)

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、会議録の内容について確認します。

令和元年9月30日

中橋 健二

---

村永 信吾

---